

2009年(平成21年)10月12日(月)

毎 日 新 聞

薬物依存症とリハビリ施設を知って

新潟でフォーラム

薬物依存症とその民

間リハビリ施設「ダルク(DARC)」の実態を知ってもらう機会をと、依存症患者を抱える家族らでつくる団体がこのほど、「新潟県薬物依存症フォーラム」(毎日新聞新潟支局など後援)を新潟市中央区の新潟青陵大で

開催した。

ダルクは薬物常習者が共同生活をしながら体験を語り合うなどして、依存症からの回復を図る施設。フォーラムでは、入所者らが「刑務所から出た直後に再び覚せい剤に手を染めた」「ダルクで自分自身に問題があることに気付いた」などと語り、依存から抜け出すことの難しさやダルクの存在の大きさを訴えた。

全国約50のダルクを取りまとめる日本ダルク本部の近藤恒夫代表は日本の薬物問題について「取り締まりばかりに重点が置かれ、治療や福祉の面が不足している。(薬物で逮捕された者の)再犯を防止する仕組み作りが必要だ」と話した。

【富山哲郎】